

低血糖で入院する患者さんの患者背景・腎機能、  
および薬剤使用状況分析のための調査

1. 調査の対象

2024年4月1日～2026年3月31日に低血糖で入院した患者さん

2. 調査方法目的・方法

腎機能が低下した患者さんでは低血糖リスクが高く、腎機能に応じた薬剤の調節が重要となります。日本の先行研究では低血糖の原因として薬剤過剰投与が約3割を占めるとの報告があり、高齢化に伴う腎機能低下患者さんが多いことも一つの要因と考えられます。そこで本調査は、当院の低血糖入院患者さんの実態を把握し、腎機能低下患者さんにおける薬剤適正化を検討することで、低血糖予防に繋げることを目的とします。

調査期間：倫理申請許可日 ～ 2027年3月31日

3. 調査に用いる情報の種類

以下の臨床情報を診療記録より取得します。

年齢、性別、糖尿病の有無、腎機能などの検査結果、常備薬の処方元、入院中の処方内容変更の有無など

4. 外部への情報の提供

本調査は、当院単施設における調査であり、外部施設への情報提供は行いません。また、調査成果の学会、論文などにおける発表に際しては調査対象者皆さんの個人情報が入外に漏れることの無いように十分配慮します。

5. 個人情報保護について

調査実施に係る情報を取り扱う際は、患者さんの個人情報とは無関係の番号を付して匿名化を行い、番号と患者さんの元情報を結びつける対応表は作成しません。また、結果を公表する際は、患者さんを特定できる情報を含まないようにします。さらに研究の目的以外に、研究で得られた患者さんの情報を使用しません。

6. 保存期間・廃棄方法

本調査に係る情報（調査に係わる文書および調査データ等）は、管理責任者（研究責任者）のもと、論文等の成果発表後10年間、当院薬剤部の施錠可能な保管庫に保管します。保管期間終了後は、紙データは匿名化されたままシュレッター等を用いて廃棄し、電子データはデータを完全に削除します。

7. 調査組織  
長野市民病院 薬剤部

8. お問い合わせ先

本調査に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡ください。

また、本調査の対象となる方またはその代理人より、情報の利用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願い致します。

尚、調査不参加を申し出られた場合でも、不利益を受けることはありません。ただし、お申し出をいただいた時点ですでに調査結果が学会、論文などで公表されていた場合等には結果を破棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。

長野市民病院 臨床試験運営事務局  
電話番号：026-295-1199（病院代表）  
研究責任者： 鈴木成美（薬剤部）